

令和3年度 学校評価自己評価表（最終）

学校教育目標 『夢や目標に向かい 自らを高める』 ～自ら取り組み進んで学ぶ子 自ら考え進んで行動する子 自ら進んで運動する子～
 ミッション 子供たちが夢に向かって自己実現できるように、その基盤となる力を育成する。
 ビジョン 学ぶことが楽しくなる学校 心が優しくなる学校 心も体もたくましくなる学校

廿日市市立津田小学校

中期経営目標	短期経営目標	目標達成のための方策	担当	評価項目・指標・目標値	評価	結果(●)と考察(☆)	今後に向けて(○)	コメント
確かな学力(知)	◎基礎的・基本的な知識・技能の定着	<ul style="list-style-type: none"> 主体的な学びのある授業にするために5つの授業改善に取り組む。 ①導入や課題設定の工夫 ②学び合いの授業展開の工夫 ③対象児童の手立ての充実 ④振り返りの充実 ⑤ICT機器の積極的な活用 	教務部	<ul style="list-style-type: none"> 児童に確かな学力をつけている。 【市共通項目】廿日市学力定着状況調査(全学年)の国・算の課題で60%以上正答した児童の割合 ・全学年算数の学期末テストの問題で、平均正答率75%以上の児童の割合 ・課題の解決に向けて、自分で考え、自分から取り組んでいる児童の割合 	80%以上 A	<ul style="list-style-type: none"> ●「全国学力・学力定着状況調査」60点以上結果…国72 算68(目標66%以上) ●算数2学期末テスト1年92% 2年100 3年70 4年92 5年44 6年65(平均77%) ●学力定着状況調査 国1年92 2年80 3年50 4年76 5年64 6年84 7年100 2年60 3年60 4年69 5年52 6年84(平均73%) ●児童アンケート「自分で考え取り組んでいる」98→99% ☆学力定着状況調査の結果、国語は3～5年、算数は2～5年に課題が見られた。 ☆算数の学期末テストは5・6年に課題が見られた。 ☆児童アンケートでは引き続き児童が主体的に学習に取り組んでいることが見られた。 	<ul style="list-style-type: none"> ○全国学力・学力定着状況調査、学力定着状況調査で正答率の低い問題を分析して学校で指導するとともに、保護者にも発信する。 ○学び合いや振り返りを生かした主体的な学びのある授業研究に取り組み、思考力・判断力・表現力の向上を図る。 ・先生方の丁寧な指導により、改善が図られています。学年により学力差があるので学校全体で取り組んでいく必要を感じます。 ・学習意欲を高める工夫を色々とされています。 ・特別支援学級と交流学級の学習の進捗が同じなのが良いと思いました。 ・全国学力テスト等を活用して授業に生かしてほしいです。 ・主体的な学びの授業研究は中・高へとつながってほしいです。 ・参観ができないため、児童の発言力が気になっています。 	
				70～79% B	60～69% C			60%未満 D
◎家庭学習に自ら取り組む児童の育成	<ul style="list-style-type: none"> ・家庭学習ステップアップ週間に学期に1回実施し、家庭学習の定着や生活リズムの見直しを図る。 ・家庭学習の内容を教員間で共有する。家庭学習をする上で環境づくりや学習の仕方などについて発信し、保護者に協力を得る。 ・家庭学習の目標学習時間を1～4年生は「10分×学年+10分」、5・6年生は「60分」と設定し、児童に意識させて取り組ませる。 ・「自学のすまじ」に取り組ませる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・児童自ら進んで家庭学習に取り組む姿勢に関する、児童・保護者の肯定的評価 ・家庭学習の時間調査結果(さいきっ子カード：各学年の設定目標時間の集計) 	80%以上 A	<ul style="list-style-type: none"> ●アンケート⑩児童「家庭学習を目標時間している」94→87%の保護者「わが子は家庭学習を目標時間している」82→83% ☆児童アンケートが7%下がっている。学習時間を計り、目標時間を達成が明確になったと考える。 ●家庭学習ステップアップ週間における目標学習時間の達成1学期:83%、2学期:79%、3学期:82% 平均81% ☆目標を達成することができた。達成できた学年と達成できなかった学年の差が大き。 	<ul style="list-style-type: none"> ○家庭学習の内容や環境づくり、学習の仕方などについて、児童と保護者、教職員で共通理解を図り取り組みを進めるために、教務通信の発行を継続していく。 ○さいきっ子カードの取組により、家庭学習の定着や生活リズムを見直し、改善できる機会を作ることができた。今後は、ステップアップ週間に終わった後も児童が意識し継続できるように取組を進めていく。 ・先生方が毎日細かく目を通されているから家庭学習の習慣化が図られていると感じます。 ・家庭学習に取り組む工夫を保護者・学校・児童が共通の認識で実施し、評価されていてとても良いと思います。 ・家庭学習の習慣づける取組を継続してほしいです。 			
70～79% B	60～69% C	60%未満 D						
★自他の良さを認め合う、自己肯定感・自己有用感の育成	<ul style="list-style-type: none"> ・「つながりタイム」や学活でのソーシャルスキルトレーニングやエンカウンター、話し合い活動など特別活動を充実させる。 ・帰りの会で週に3回は「いいことみつけ」を行い「学年の1枚」を毎月放送・掲示する。 ・アセスによる学級全体と個人の傾向を把握し、取組に役立てる。 ・面談週間を取ることで、一人一人の児童と丁寧に話をしたり聞いたりする時間をもつ。 	生徒指導部	90%以上 A			<ul style="list-style-type: none"> ●アンケート結果⑪児童「友達を大切にしている」98→100% 「学級のみならず認められる」88→92% 「津田小はいい所のない学校」90→91% 「自分にはよい所がある」(2回目挿入項目)91% ☆自己肯定感・自己有用感、級友関係の向上が見られる結果である。「いいことみつけ」「つたコーナー」「自分にはよい所がある」などにより、児童の意識が向上したと思われる。 	<ul style="list-style-type: none"> ○「いいことみつけ」に加え、本年度より職員による児童の肯定的評価として取り組んだ「つたコーナー」、エンカウンター活動を含む「つながりタイム」に取り組む。 ○アセスやいじめアンケートなどの実施に加え、日ごろから児童の様子や表情を注視しながら、一人一人の児童の自己肯定感・自己有用感の育成をしていく。 ・佐伯小中合同研修を活かした「つながりタイム」で、児童同士の間がりを意図的に作っているのがよいと思います。 ・楽しくお互いを尊重し合える活動を取り入れ、温かい気持ちになります。おさんから家庭にも伝えられるといいですね。 ・自己と他己を認め合うことは大変良いことです。 	
80～89% B			70～79% C					70%未満 D
◎マナーや規範意識の育成	<ul style="list-style-type: none"> ・「津田小ガイドブック」を活用した共通指導をする。 ・学期末に学校の決まりが守れているか自分を振り返らせる。 ・縦割り班やペア学年など異学年交流を充実させる。 ・「あいさつ運動」の取組を継続して行う。 ・自問清掃が徹底するよう自問タイムを設け、確実に行わせる。 ・学期初めに「サンサンウィーク」に取り組む。 	<ul style="list-style-type: none"> ・「津田小ガイドブック」にあるマナーや規範意識を守ろうする児童の肯定的評価。 ・あいさつ・そうじに関する項目の児童・保護者・教職員の肯定的評価。 	90%以上 A	<ul style="list-style-type: none"> ●アンケート結果⑫「津田小ガイドブックを守る」児童96→90% 教職員100→100% ⑬「元気よく挨拶をする」児童89→95% 保護者90→90% 教職員93→92% ⑭「掃除を時間いっぱいについている」児童95→99% 「津田小は掃除が行き届いている」保護者95→96% 教職員100→100% ☆感染予防のために活動が限られていたが、児童は規範意識をもって生活することができていた。 	<ul style="list-style-type: none"> ○縦割り班活動に加え、ペア学年活動を充実させ、これからの児童のマナーや規範意識を育てていく。 ○「津田小ガイドブック」を児童と職員が共通理解のものとし、守っていくことが大切である。 ・「津田小ガイドブック」の活用により、共通認識が図られ、ブレのない指導ができており、学校が落ちついていきます。 ・きちんと挨拶ができる児童が多くなりうれしく思っています。 ・コロナ禍で地域行事に参加することができないことが大変残念です。 			
80～89% B	70～79% C	70%未満 D						
◎健康への意識や体力を高め「健やかな体」を育む	<ul style="list-style-type: none"> ・握力や跳躍力を高めるために、体育科の学習では、毎時間、サーキットトレーニングを行う。また、毎週金曜日の朝トレで全校児童を対象にしたトレーニングを行う。 ・児童の体力向上のために、体育委員会が、いろいろな遊びやラジオ体操、朝トレの仕方を紹介して、運動に親しめようにする。 	健康安全部	8/12以上 A			<ul style="list-style-type: none"> ●一学期に行った握力や跳躍力の体力測定の結果は、握力 4 / 12 跳躍力 10 / 12。課題の大きかった握力について、3学期に再テストを行った結果、8 / 12であった。 ☆朝トレを改善したことやサーキットトレーニング等を年間を通して取り組んだことが、成果の要因だと考えられる。 	<ul style="list-style-type: none"> ○朝トレや体育の時間に行うサーキットトレーニングを継続し、体力向上を図る取組を行う必要がある。新たな課題である持久力の向上のため、3学期にはなわとび運動を全校で取り組んだ。今後も、休憩時間の遊びの充実を図るなどして、児童が主体的に体力を高める取組を進めていく。 ・「サーキットトレーニング」を年間通じての取組が素晴らしい、継続することを望みます。 ・体を使っている遊びが少ない状況がよくわかりました。 ・登下校時の車の送迎が多く、大変気になります。 ・子供の体力が落ちているのが心配です。 	
6/12 7/12 B			4/12 5/12 C					3/12以下 D
◎健康に対する意識を高め、歯科保健の実践を通じた子どもの口腔環境の改善	<ul style="list-style-type: none"> ・歯科受診を推奨する。(受診勧告を検診後と12月の懇談時と3月の3回配付) ・歯みがきカレンダーの取組を行う。(学期に1回) ・歯みがき指導を学級ごとに年1回実施する。(学校医・歯科衛生士・他の機関と連携した学級活動・自立の時間) 	75%以上 A	<ul style="list-style-type: none"> ●歯みがきカレンダー1日2回できた児童(2学期) 87.6% →(3学期)91.8% 65～74% B ＜内訳＞ 1年85.7% 2年83.3% 3年81.8% 4年91.7% 5年94.7% 6年100.0% ☆2学期よりできた割合が同じか増えた学級ばかりだった。特に高学年の定着があった。感染症の関係で欠席の児童もいたが担当がスタンプや丸つけをし、さらに細かく声掛けをして取り組んだ結果、目標を上回った。 	<ul style="list-style-type: none"> ○健康委員会が放送や全クラスを回ってポスター掲示の依頼、呼びかけや表彰をした。今後も児童自らの活動を継続していく。 ○未処置歯の受診率が悪いので2学期懇談時に担任から再受診の通知を手渡した。今後も継続して家庭の協力を得るようにする。 ○学校医さん・歯科衛生士さんや、行政の保健担当等と連携する。他機関が実施している歯みがき企画を活用して口腔衛生の意識を高めていく。 				
65～74% B	55～64% C	55%未満 D						
◎健康で生き生きとやりのある職場の創造	<ul style="list-style-type: none"> ・定時退校日を週1日(水曜日)設定する。 ・教職員全員で熟議し、業務改善の推進を図る。 ・学校教育目標の具現化に向かって「チーム津田」として一丸となって取り組む。 	校内衛生委員会			85%以上 A	<ul style="list-style-type: none"> ●毎月、時間外勤務時間の個人票を配り自覚を促し、津田小全体の平均時間と超過人数を共通認識させた。45時間以上78% ●教職員アンケート「生き生きとやりがいをもって勤務する」93～100% 『「チーム津田」として一丸となって教育活動に取り組む」100～100%』 ☆働き方改革についての研修会を行い、教職員自身の働き方について振り返りを行うことができ、1学期に比べて改善が見られる。 	<ul style="list-style-type: none"> ○研修を行い、教職員は時間を意識して仕事内容を考えていくようになってきた。さらに45時間を意識して勤務していくようにした。 ○教職員アンケートでは高い数値を得られている。今年度は、感染症が改善・悪化を繰り返したため、学校行事の変更も余儀なしであった。その中で、「チーム津田」を意識していることは喜ばしい。 ・生きがいややりがいをもって勤務している教職員が100%は大変素晴らしいです。 ・教職員の方が良く取り組んでいること、子供たちを大切に思っていることが良く伝わり、うれしく思います。 ・「チーム津田」として教職員が取り組んでいることに意義があります。 ・早朝より勤務している教職員が多く、感心している。 	
65～84% B					45～64% C			45%未満 D

◎重点項目 ★小中学校共通項目